

明日からの公立高校入試に向けて

①下見について

- ・校舎内の公開はされませんが、公共交通機関の確認等のために高校まで実際に行くことは可能です。校舎内には入れませんので注意してください。
- ・私立高校より交通の便が悪い所にある高校が多いので要注意です。バスに乗らなければならない場合は、時刻表をよく確認し、早めの行動を心がけましょう。ただし、開場時刻より早く着きすぎないように注意してください。また、公共の場でのマナーも十分に考えて行動してください。
- ・友達と待ち合わせて一緒に行くことを予定している場合は、待ち合わせ限度時刻を明確に決め、揃わなくても試験会場に向かうようにしましょう。

②受検票について（下見にも必ず持参すること）

- ・受検番号と高校の住所も、生徒手帳や「入試ハンドブック」に書き写しておきましょう。
- ・受検票に時間や持ち物などが書かれています。また、添付されたプリントにも連絡事項が詳しく書かれている学校もあります。必ず隅々まで確認してください。

③事前に持ち物の準備をしましょう

- ・スマートフォンや携帯電話、電卓、計算機能・辞書機能の付いた腕時計など、公正さを損なう物の持ち込みは固く禁止されています。その他、アラーム音・時報音が停止できない腕時計、置時計、下敷き、漢字・英単語が書かれている文房具やポケットティッシュも不可です。防寒対策のため文字の入っていない上着やひざ掛けの使用は認められています。不要物については、私立高校入試以上に厳しいので、「このくらい…」という甘い考えはしないでください。
- ・検査室（教室）には時計は設置されていませんので、腕時計を持っていきましょう。ただし、上に書かれている注意点をよく確認してください。

④当日については、「入試ハンドブック」の通りですが…

- ・「時間のゆとり」は「心のゆとり」に繋がります。午前8時40分には、検査室（教室）に入室してなければなりません。（一部、これより早い時刻を指定した高校もあるので注意してください）
- ・開場時刻より早く着きすぎることのないようにしましょう。開場時刻の10分前程度に到着するように調整してください。
- ・学力検査前までに、トイレ（混み合うので2ヶ所は）と暖房の位置、水飲み場も確認しておきましょう。
- ・試験中は試験監督の先生の指示に従うこと。特に英語の聞き取りテストでは、自分勝手に問題用紙を開かないように気を付けてください。

⑤緊急時の対応について

- ・緊急時（遅刻しそう、熱があるなど）は、必ず中学校にしてください。中学校から高校へ連絡します（個人で高校へ連絡しても受け付けてもらえません）。スマートフォン・携帯電話を持たずに試験会場に移動しているので、緊急時に中学校に連絡する場合は、付近のコンビニエンスストア等に事情を説明し、電話を借ります。
- ・自家用車で送ってもらったために、冬道の渋滞で遅刻した例もあります。この場合は高校側でも配慮されませんので、十分に気を付けてください。
- ・万一受検票を忘れても取りに戻らないこと。高校の受付に申し出ると対処してくれます。
- ・試験会場で具合が悪くなった場合には、試験監督の先生に速やかに声をかけて、対応してもらってください。

⑥2日目の面接試験について

- ・2日目の面接試験は、中学校別・学科別・受験番号別など、グループごとに集合時刻が異なります。添付されたプリント等の注意事項を十分に確認してください。